

金城資料館来館者調査表

県別	地 区 別							
北海道	室蘭市	札幌市						
青森県								
岩手県								
宮城県								
秋田県								
山形県								
福島県								
茨城県	笠間市	つくば市						
群馬県	高崎市							
埼玉県	さいたま市							
千葉県	浦安市	千葉市	松戸市					
東京都	文京区	狛江市	三鷹市	北区	台東区	国立民族学博物館	東洋大学	
	世田谷区	立川市	目黒区	昭島市	新宿区	東京文化財研究所		
神奈川県	横浜市	川崎市	横須賀市	大和つきみの市				神奈川大学
山梨県	山梨市							
長野県	長野市	中野市						
新潟県	糸魚川市							
富山県	高岡市	南砺市						
新潟県								
石川県								
福井県	福井市							
岐阜県	高山市							
静岡県	豊田市							
愛知県	名古屋市	豊橋市						
三重県	鈴鹿市							
滋賀県								
京都府	京都市	亀岡市						龍谷大学
大阪府	大阪市	吹田市	堺市					
兵庫県	宝塚市	神戸市	福知山市					
奈良県	奈良市	香芝市						
和歌山県	田辺市	高野町						高野山大学
鳥取県	鳥取市	境港市	大山町	米子市				
島根県	松江市	安来市	雲南市	出雲市	大田市	益田市		県立大学
	宍道町	浜田市	邑南町	江津市	川本町	津和野町		島根大学
岡山県	岡山市	笠岡市	倉敷市					
広島県	広島市	尾道市	福山市	呉市	廿日市市	千代田町	府中町	
	三次市	竹原市	府中町	北広島町	庄原市	安芸高田市		
山口県	下関市	長門市	周防大島町	周東市	阿東町	山口市	萩市	周南市
徳島県	徳島市							
香川県								
愛媛県	松山市							
高知県								
福岡県	北九州市	福岡市						
佐賀県	三養基郡							
長崎県	宮崎市							
熊本県								
大分県	別府市							
宮崎県								
鹿児島県	姶良市							
沖縄県								
米国	合衆国							

浜田市金城資料館関連 QR コード



浜田市金城民俗資料館 QR



まるごと博物館QRコード



たたら製鉄と地域経済



実践民俗学 50 年 QR



波佐ネット通信 QR コード



西中国山地民具を守る会 QR



能海寛研究会QRコード



島村抱月QRコード



波佐文化協会QRコード



常磐山のカシ林QR



観光案内QRコード



ふるさと出版図書

企画展「波佐まるごとミュージアム展」の開催

令和 7 年度の企画展は、「波佐まるごとミュージアム展」を開催します。金城資料館 2 館を中心とした半徑 1Km 内に位置する文化財・観光施設を歴史的観点から解説します。

史跡、千年比丘一号墳は、4 世紀前半の石見地方最古の古墳(直径 15m の円墳)です。この古墳からは、弥生期の砥石が埋納されていました。長田郷遺跡、七渡瀬Ⅰ・Ⅱ遺跡は、縄文時代晩期から継続した 3,500 年前からの遺跡で、弥生・古墳・奈良時代の堅穴住居を伴った遺跡です。長田郷遺跡、七渡瀬Ⅱ遺跡から発掘された縄文晩期以降の各時代別の出土遺物も併せて展示しております。

中世の山岳城郭である、波佐一本松城は、風水を用いた連郭式城郭です。特に水堀施設、水撥ね施設のある唯一の城郭です。三面の裾野が切岸に加工され守りの城郭としての機能が見受けられます。

天然記念物「常磐の大杉」5 株は、島根県指定で、日本老樹銘木にもなっています。神殿の裏山全体が、みんなで守る郷土の自然地域「常磐のカシ林」に指定されており、林内は、遊歩道が設置されています。常磐山八幡宮は、文治元年に佐々木高綱創建の神社で、戦国時代には、尼子經久が再建して、宮座制が確立され、定紋は、四ツ目結。神輿には、尼子氏の定紋が使用されている。7 月からは、常磐山八幡宮に奉納されていた、「黒革威胴丸」(室町期)も展示に加わります。(現在、北広島町の戦国の庭博物館へ展示貸出中の為)

他に、笠松峠の曇石路、能海寛のふると浄蓮寺・顕彰碑・ハクモクレン、永昌寺の大杉・尼子經久公の墓所、波佐天満宮、水見城、花城などまるごとミュージアム内の文化財施設の解説パネル展示もご覧いただき、スタンブラリー、歌碑めぐりツアーなどもお楽しみいただけます。

企画展『波佐まるごとミュージアム展』

会 期：令和 7 年 6 月 1 日(日)～12 月 28 日(日)
開館日：土曜・日曜日 午前 9 時～午後 5 時
(土・日曜日以外で入館希望の方は事前に予約下さい)
会 場：浜田市金城歴史民俗資料館 浜田市金城町波佐
連絡先：予約電話 090-4697-2818



浜田市金城資料館アンケート調査から

(令和 6 年度分)

【何で知ったか】

・市報はまだ 9.5% ・インターネット 42.8% ・ロコミ 33.4% ・新聞・テレビ・雑誌 14.3%

【関心の分野】

・歴史 33.3% ・民俗 27.8% ・郷土史 25.0% ・偉人 13.9%

【資料館で関心をもったもの】

・民俗資料 28.6% ・たたら関係資料 30.9% ・能海寛資料 26.2% ・企画展 14.3%

【来館者】

・男性 68.4% ・女性 31.6% ・平均年齢 56.9 歳

【感想・コメント欄】

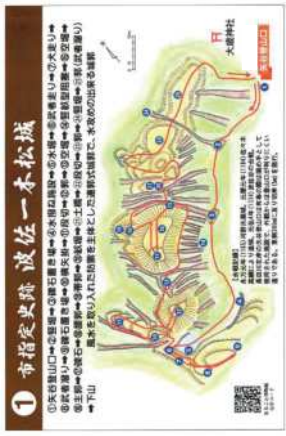
- ◆非常に素晴らしい時間でした。ありがとうございました。
- ◆資料が良く残されている。判り易かった。
- ◆よくわかりました。是非もっと多くの方に知って頂きたいと思いました。
- ◆昔の民具を見ることで自分の生き方を内省するきっかけになりました。
- ◆資料の多さに驚きました。昔の人のご苦労が忍ばれます。一年間行事を地域の皆さんの努力があり、継続されて、今日があることに感動した。
- ◆館内の諸資料の説明が詳しく、良かったです。
- ◆説明を丁寧にしてもらい資料の内容が良くわかりました。
- ◆とても面白い展示がいっぱい有ってよかったです。
- ◆知らないことを初めて知ってよかったです。
- ◆能海寛関係で来て見ましたら、非常に興味ぶかかった。
- ◆たたら製鉄だけでなく、豊かな文化に触れることができました。
- ◆説明していただいたので判り易かったです。
- ◆初めて見るものも多く良かったです。
- ◆とても判り易く説明していただきました。もっと知りたいとおもったので多くの方にも興味を持ってほしいと思いました。
- ◆日本の宝です。もっと光を当てるようにします。
- ◆大変素晴らしいかった。又人を呼びます。
- ◆貴重なものを拝見感謝しています。
- ◆資料の保存の大切さを感じました。

金城歴史民俗資料館企画展『波佐まるごとミュージアム展』

会 期：令和 7 年 6 月 1 日(日)～12 月 28 日(日)
開館日：土曜・日曜日 午前 9 時～午後 5 時 連絡先：予約電話 090-4697-2818
(土・日曜日以外で入館希望の方は事前に予約下さい)

波佐一本松城登山

9 月 25 日 (木) に、波佐小学校全校生徒が市指定史跡である『波佐一本松城』へ登山して中世の山城の縄張り 25 箇所と礫石置き場 4 箇所、堅畝型阻害の畝上にも礫石が配置されている様子を学習しました。水堀施設の役割と水搬ね施設を見学し、水攻めと貯水していることで、城内を往来する土橋を通行させて、横矢掛けからの弓矢で攻撃が有効に働くことも確認した。主郭は 1,000 ㎡あり、東側の堅畝堀を上る兵士を主郭から弓矢で的が絞りが易く施行していることも確認できた。この城内には案内看板が整備されており、安心して登山できる城郭です。



主郭での波佐小の皆さん



左側が土橋、右が 2m 深さの水堀施設



下山後に感想を述べる小学生

企画展好評開催中

只今、金城歴史民俗資料館では、企画展『波佐まるごとミュージアム展』が、12 月 28 日までの会期で開催中です。今回の企画展では、波佐地区の文化施設と文化財(波佐地内から出土した考古資料・史跡・天然記念物など)が全て理解出来る企画展となっています。

この企画展で、「波佐一本松城」の詳細を学習して、現地を訪問されるとより理解が深まります。

また、6 箇所のスタンプラリーも楽しめます。事前学習してからのスタンプラリーをお勧めします。スタンプラリー台紙は、入館者に無料で配布しております。



県立大学生の皆さん

企画展で「黒韋威胴丸」残欠を公開展示中

現在、浜田市金城歴史民俗資料館で開催中の企画展「波佐まるごとミュージアム展」に併せて「黒韋威胴丸残欠」(室町時代)を展示中です。厳島神社の国宝「黒韋威胴丸」、安芸太田町大歳神社の広島県指定「黒韋威胴丸」と同等の黒韋威胴丸の残欠です。

甲冑研究家の豊田勝彦氏に、ばらばらだった残欠を並べ替えていただいたものです。

黒韋威胴丸残欠

室町時代 西中国山地民具を守る会所蔵

島根県浜田市金城町波佐に鎮座する常磐山八幡宮に伝来したものである。
単体の鉄板で作られた胸板等の金具廻りや非鉄金属製の飾り金具類は全て欠損してしまつたが、① 鉄革交互に混ぜた本小札 ② 二山を有する 14 穴で端部同士を重ねる鉄製伊予札③ 革札のみの本小札の三種類の札板と、幸いにして①のやや大き目な上下に連続する塊が背中央に当る後立拳(うしろたてあげ)部に相当する事が確認できる。

以上からこの甲冑も、安芸太田町大歳神社所蔵品同様、胴廻りは鉄伊予札・前後の立拳と草摺上部は鉄札交わりの本小札・それ以外の草摺下部は革札のみの本小札から仕立てられた、右脇開閉式の胴甲であつたことは疑うべくもなく、袖は勿論のこと兜も往時は装備していたものと想定される。右脇重なり部の前側が欠損しているのも確認には欠けるが、地理的要因から厳島神社や大歳神社同様安芸国内で作られたものと考えられる。

解説：豊田勝彦氏



赤色で囲んだ部分が現存する残欠部位です。



「黒韋威胴丸」の残欠部分(単位図のみ)

文化財防火デーで総合防火訓練

法隆寺の金堂が昭和24年1月26日に焼失したことで、昭和30年に消防庁が1月26日を文化財防火デーとして指定。今年で72回目を迎えました。

金城資料館では、昭和47年度から毎年、1月26日の直近する第四・土曜日に消防防火訓練を実施しています。

今年は1月24日(土)午前10時から、東部消防署金城出張所(森氏・内藤氏)の指導の下、金城資料館自衛消防隊のメンバーで消防総合訓練(消火・通報・避難誘導)を実施しました。消火訓練では、森隊長から指導を受け、参加者全員が、2人ずつ水消火器を使い実体験しました。

午前11時から、会場を波佐まちづくりセンターに移動して、内藤消防隊長から救命救急措置の指導を受け、AEDの使い方、心肺蘇生術などを体験しました。



壁新聞「波佐一本松城の守りの工夫」を掲出

波佐小学校3学級の児童5名の皆さんが、昨年9月25日に全校児童が波佐一本松城で現地見学の後、学習成果品として、「壁新聞」を作成して、12月20日に全校児童の前で、つぶて石、堅欵型阻塞、水撥ね施設、櫓矢掛けの4箇所の特徴を5名の児童の皆さんがそれぞれ、発表しました。

その後、「壁新聞」は校内に掲出後に、金城民俗資料館で一年間、掲出公開されることとなり、現在民俗資料館内の階段上り口に掲示しています。

この壁新聞は、城郭の中心部の平面図を彩色して見やすく、現地の写真も掲載して、この城の守りの工夫に就いて判り易く解説して作成しています。ご来館のおりには、是非ともご覧ください。



「波佐の歴史を探る」発表会
波佐小学校3学級生 2026.2.25

波佐小学校3学級(5・6年生)は、7月3日、2月5日の2回、浜田市金城歴史民俗資料館の企画展を見学して、能海寛、千年比丘1号墳、たたら製鉄、常磐山八幡宮、普明山永昌寺を学習して発表会を行いました。



金城資料館で「波佐の歴史を探る」事前学習



「ふるさとの偉人熊海寛」を発表する青木さん



史跡「千年比丘1号墳」を調査した殿本さん



「常磐山八幡宮」の歴史を調査した岡崎さん



「普明山永昌寺」の歴史を調査した殿本さん



「たたら製鉄」の歴史を調査した河崎さん



「学習を終えて」を総括する 青木さん



学習成果を発表した皆さん

浜田市金城資料館アンケート調査から

(令和7年度分)

【何で知ったか】

・市報はまだ 4.0% ・インターネット 60.0% ・ロコミ 28.0% ・新聞・テレビ・雑誌 8.0%

【 関心の分野 】

・歴史 37.8% ・民俗 35.2% ・郷土史 9.0% ・偉人 2.7%

【 資料館で関心をもったもの 】

・民俗資料 31.8% ・たたら関係資料 29.5% ・能海寛資料 27.3% ・企画展 11.4%

【来館者】

・男性 84.0% ・女性 16.0% ・平均年齢 38.9歳

【 感想・コメント欄 】

- ◆ 展示品も多く、当時の様子を思い浮かぶことができ良かったです。
- ◆ 当時使われていた民具や道具が多く展示されていて面白かった。また、初めて知ったことや、新たな気づきが多くあった。
- ◆ 貴重な話が聞けて、大変勉強になりました。また、島根県にもとても興味深い歴史があった面白かったです。
- ◆ とても判り易い説明でした。ありがとうございました。
- ◆ 私も寛になりたい。
- ◆ 昔の人の工夫をよく知ることが出来て良かったです。
- ◆ 貴重なお話しありがとうございました。展示品の説明も、見られたので良かった(小林式除草機)。
- ◆ 貴重な資料が揃っていて、楽しく観て回ることが出来ました。
- ◆ このような生きた文化財を知る資料館があることは、それだけで地域の価値ある財産になるのだと感じました。
- ◆ 現在まで、これらの資料を保管して、また地域の人々に敬意を感じました。
- ◆ 解説を丁寧にいただき良く理解できました。
- ◆ 使用方法の再現、写真付きで判り易く面白かったです。
- ◆ 能海寛さんの資料から人物像が見えてきて、とても満足です。
- ◆ 浜田市に住んでいても金城町含め、波佐の歴史について知らなかったことが多かったので、深く学べよかったです。
- ◆ もっとアピール、(知られていないのがおかしい) 歴史文化の深さ。
- ◆ 案内していただいて、資料を見るだけでは、判らなかった事を知れて面白かった。

第57回定期総会開催

令和7年4月10日、ときわ会館にて、民具を守る会第57回定期総会を10名出席で開催しました。会長挨拶で中国電力のエネルギア伝統文化賞の受賞通知を受け4月21日の授賞式に出席の旨の報告がありました。記事では、令和6年度の事業報告、会計報告、令和7年度事業計画、予算案などが原案通り承認されました。昨年、発足当初から会員の上山信人氏が逝去されたため、15名の会員で7年度を運営していきます。

役員改選では加納昭則副会長(事務局長兼務)の辞任により空席となり、事務局長に隅田哲夫氏が選任されました。その他は役員留任となりました。

今年の金城資料館の企画展は6月1日(日)から12月28日(日)まで、「波佐まるごとミュージアム展」―学べる博物館の取り組み―の開催が承認されました。金城民俗資料館開館指定管理の運営について協議を行い、研修旅行などについても協議しました。



エネルギア伝統文化賞受賞

エネルギア文化・スポーツ財団は、4月21日、2025年度のエネルギア賞の表彰式を広島市中区のホテルで開き、美術賞は備前市の陶芸家石田和也氏、音楽賞は、米子市出身フルート奏者酒田結氏、伝統文化賞は、西中国山地民具を守る会(隅田正三会長)、スポーツ賞は、柳井市のバドミントン指導者竹光唯至氏。財団の刈田知英理事長から盾と目録を受け

取った。

民具を守る会は、昭和43年11月に設立以来57年間に亘って、民俗資料の調査・研究・収集・保管・活用に尽力。文化財を活かした町づくり、「実践民俗学」の推進、「民俗資料回想セラピー」など先駆的な活動が認められ受賞に至ったものです。



企画展「波佐まるとミュージアム展」 —社会科学習で来館 波佐小学校—

令和7年度の企画展「波佐まるとミュージアム展」は、金城資料館2館を中心とした半徑1Km内に位置する文化財・観光施設を歴史的観点から解説し、現在開催中です。

7月3日(木)、波佐小学校5・6年生が、社会科学習で金城歴史民俗資料館へ来館され、波佐地区内の長田郷遺跡、七渡瀬Ⅰ・Ⅱ遺跡、城ノ前遺跡、横ヶ曽根遺跡、千年比丘1号墳などから出土した石器(石斧・矢じり・スクレーパー・凹石・叩き石・石推)、縄文土器、弥生土器・砥石など3,500年前に使用されていた道具類を手に取り観察して、縄文土器の縄目模様に興味を持ち、教科書で見ただけでは、実際の大きさが判りにくく、矢じり等は考えていた大きさより、実物は小さかったと感想を述べてくれました。写真は、波佐小学校児童の皆さん。



今回の企画展では、天然記念物「常磐の大杉」5株は、島根県指定で、日本老樹銘木にもなっています。神殿の裏山全体が、みんなで守る郷土の自然地域「常磐のカシ林」に指定されており、林内は、遊歩道が設置されています。史跡・波佐一本松城は、水堀施設のある唯一の連郭式城郭です。城郭立体図も併せて展示しております。千年比丘一号墳は、4世紀前半の石見地方最古の古墳で、埋納されていた弥生期の砥石も展示しています。史跡・長田郷遺跡、七渡瀬Ⅰ・Ⅱ遺跡は、縄文時代晩期から継続した3,500年前からの遺跡です。各時代の出土品も公開展示しています。

なお、室町時代の甲冑『黒韋威胴丸』(残欠)も7月1日より展示ケースにて公開展示しております。

今年も文化財施設の清掃奉仕デー実施

今年も、金城資料館を中心に館庭や館外周辺の国道・県道沿いの歩道などの草刈り清掃作業を実施しました。



民俗館から見た歴史館



奉仕作業への参加者



歴史館から見た民俗館

文化財研修旅行

民具を守る会は、9月15日(月)昨年に続き文化財研修旅行を12名で実施しました。午前4時にときわ会館を出発、一路広島新幹線駅へと向かった。午前9時前に、大阪・関西万博会場の夢洲駅に到着。この日は、祭日のため来場者が多くて日傘を被りながら入場待ちの長蛇行の列で、今日、一番の疲労感を体験した。

会場内は、各自由見学で各種パビリオンを見学しました。コモンズ館など見学、特に、ネパール館では、仏教関係の展示が印象的でした。世界最大の木造建造物である大屋根リングに上り万博会場の全景は見事であった。時々、大屋根リング下で、休憩し食事を楽しむことが出来た。

午後4時に夢洲駅⇒新大阪⇒広島駅に午後7時に到着。午後10時にときわ会館へ無事到着。今回の広島往復ドライブは、山本宏明氏にお願いしました。



石見美術館特別展へ資料貸出

石見美術館特別展＝8月22日～11月24日(日)まで開催中の特別展「石州和紙といわみのくらし」へ、金城民俗資料館収蔵の和紙が原料で作成された民俗資料6点(天蓋切り資料、鉄布団、こでなし、じんべい、じゅばん、紙布1反)を貸出展示中です。

天蓋切り資料は、4枚漉きの和紙を6mm幅に交互に天蓋りして芋ボケに納めた状況のまままで保存されたもの。鉄布団は、和紙が原料の布団で、明治中期まで使用された重さ7kgと重たい布団ため、鉄布団とよばれた。こでなし、じんべい、じゅばんは和紙製品の着物である。紙布1反は着物2着分の機織りのものである。



民具通信

第78号 2026年1月28日
浜田市金城民俗資料館内
西中国山地民具を守る会

民具通信

第79号 2026年3月15日
浜田市金城民俗資料館内
西中国山地民具を守る会

第50回 文化講演会

『近世・近代における
出雲地域のたたら製鉄業』

講師：鳥谷智文氏



鳥谷智文氏

日時：令和8年3月15日(日)

午前10時～正午

会場：波佐まちづくりセンター

入場料：無料

主催：西中国山地民具を守る会

鳥谷智文(とや ともみ)氏 略歴

雲南市出身。広島大学を経て平成7年(1995) 松江工業高等専門学校へ
赴任、現在同校教授。専門は、たたら製鉄業を中心とした日本産業・経営
史。論著：(共著)『雲南のたたら文化』雲南市たたらプロジェクト会議、
2022年「19世紀における吉田町の様相―嘉永2年(1849)『板石郡吉田町
図面』及び『図面目錄』を中心に―」『雲南市文化財調査研究報告』第1集、
雲南市教育委員会文化財課、2025年「明治中後期における田部家『大坂出
店』で把握された鉄鋼商人・職人』『菅谷たたら山内総合文化調査報告書』
6、公益財団法人郷の歴史村地域振興事業団、2025年。など

お問合せ先：☎ 090-4697-2818



第50回文化講演会開催

3月15日(日)午前10時から正午まで、波佐まちづくりセンターにおいて、第50回文化講演会を開催しました。演題は、「近世・近代における出雲地域のたたら製鉄業」のタイトルで松江工業高等専門学校教授・鳥谷智文氏が講演されました。主催者、西中国山地民具を守る会。後援、石見たたら研究会で開催しました。

講演では、①黒金(たたら鉄)の歴史的検証 ②黒金を巡る戦乱の攻防 ③江戸時代のたたら製鉄④明治時代は、たたら製鉄の終末期 ⑤たたら製鉄は、歴史を紐解く鍵 の5つの項目に分けてパワーポイントを用いて講話された。

この文化講演会は、文化財に関わるテーマで西中国山地民具を守る会が、50年前から毎年1回、開催しているものです。今回は、たたら製鉄に関心のある浜田市民や北広島町の方々が多数聴講されました。



文化講演会の模様